

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解してからご使用をお願いいたします。また本取扱説明書は大切に保管してください。

Thank you for purchasing our product.

In order to ensure that you receive the maximum enjoyment and safety, read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

Kindly keep this manual in a convenient place for quick reference.

完成図



UJack 公式 SNS のご案内

<Twitter> <Instagram> <Youtube>



フォローして UJack の最新情報をゲットしよう!

UJack 公式ホームページ



<https://ujack.co.jp/>



警告

- 死亡または重傷などを負う可能性が想定されるものを示します

- ・テント、タープ内で火気を使用したり、高温に加熱されたものを持ち込まないでください。火災や一酸化炭素中毒などの原因となり大変危険です。
- ・テントを使用の際には定期的な換気を行ってください。
- ・河原の中州や崖下などの増水、落石の危険がある場所には設営しないでください。
- ・台風、暴風雨、落雷などの危険な状況下で組み立てや設営、ご使用をしないでください。特に気象庁が定める風速10m/s(最大瞬間風速を含む)以上の強風である場合は設営を行わないでください(テントの破損及び破損した部品による怪我のおそれがあります)
- ・ガス地帯等、天然ガス等が発生する場所で組み立てや設営、ご使用をしないでください。
- ・電線の近くで組み立てや設営をしないでください。感電する恐れがあり大変危険です。
- ・ガス管などが埋設されている場所の近くで設営をしないでください。
- ・使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止しすみやかに撤収、安全な場所へ退避してください。
- ・小さなお子様のご使用の場合保護者の方はお子様から目を離さないでください、日中テント内は高温になることがありますので熱中症などには特に気をつけてください。
- ・本製品のいずれかの部品に異常が見受けられた場合、または異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。



注意

- 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定されるものを示します

使用者及び他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下に記載する事項を必ずお守りください。

- ・本製品は日よけ、小雨よけなど一時的な使用を目的として設計されています。常設したり強風や大雨、降雪時には絶対に使用しないでください。
- ・風の強い時はテント、タープを設営しないでください。本体やペグなどが飛ばされて本体が破損したり、人に怪我を負わせるなど、思わぬ事故の原因となります。特に気象庁が定める風速 10m/s(最大瞬間風速を含む)以上の強風である場合は設営を行わないでください。
- ・各部の構成をよく把握し、組み立て順序に従って取り扱ってください。
- ・解体・撤去の際は、組み立ての逆の順序で必ず行い、特に手や指を挟まないようにご注意ください。
- ・組立、設置、解体には安全のために手袋等の防護具を着用してください。
- ・小さなお子様のご使用になる場合、保護者の方はお子様から目を離さないでください。
- ・快適なキャンプのためにも製品の破損や付属品の不足がないことを確認してから使用してください。
- ・必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用してください。(特にお子様がいる場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意ください。)
- ・小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- ・組み立て時や折りたたみ時には、本製品に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- ・テント、タープの設営の際は、水はけがよく平らな場所を選んでください。
- ・石や小枝などのテント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地したうえで設営してください。
- ・ペグやロープでしっかりと地面に固定してください、また砂地や河原、風が強めの日など付属のペグで固定が不十分な場合は、別途設営場所に合わせた市販のペグをご用意ください。
- ・説明書に従いすべての張り網を確実に固定した状態でご使用ください。
- ・焚火のそばなど火があたる可能性のある場所、火の粉がかかるおそれのある場所では使用しないでください。
- ・製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- ・お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断りいたします。

収納保管について

- ・使用後は汚れを落として、完全に乾燥させてください。濡れたまま保管すると色移りやカビ、腐食の原因となります。
- ・汚れを落とす場合は固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。
- ・シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色などの原因となるので使用しないでください。
- ・高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管してください。
- ・本体や収納袋は洗濯しないでください。
- ・幼児や小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
- ・廃棄の際は各地方自治体の指示に従って廃棄してください。

結露について

テントやタープの生地には防水加工が施されており、外気との温度差が大きくなると生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。呼吸などにより室内の水蒸気濃度(湿度)が高くなった場合に起こりやすく、定期的に喚起をおこなうことで改善することができます。

シームシーリング剤による目止めについて

防水加工は施されていますが製品の構造上、雨量によって縫い目やジッパーの合わせ目から浸水する場合があります。必要に応じて縫い目にシームシーリング剤(目止め液)を塗布してください。また定期的に点検をおこない、シームシーリング剤が剥離してしまった場合には塗布しなおしてください。

グランドシートの併用について

テントの汚れや傷、雨水の浸水などを防ぐためにもグランドシート(テントの下に敷くシート)の併用をおすすめします。グランドシートがない場合は、ビニールシートやブルーシートでも代用できます。

お問い合わせ先情報

製造者名：株式会社 UJack
郵便番号：283-0005
住所：千葉県東金市田間 2216-1
連絡先：0475-77-8822(通話料有料)
対応時間：10:00 ~ 17:00(土日祝日を除く)
製品には万全を期しておりますが万一なにかございましたらお気軽にお問い合わせください

内容品について

キャンプへご出発前に必ず内容品を確認しておいてください。(設営には別途ペグハンマーが必要です)



設営方法 - 1人で設営可能です

1、設営前の確認

- ・セット内容の確認をして不足や破損、異常がないかを確認します。気象条件、地面の状況、設営の向きを考慮して設営場所を決定しましょう。(地面に落ちている小枝や小石などをきれいに取り除き同梱のグランドシートの使用を推奨)
- ・設営には別途ペグハンマーをご準備ください。(UJack ペグハンマー VHH がおすすめです)

2、グランドシート / インナーシートの展開と立ち上げ

- ①同梱のグランドシートを広げます。グランドシート部分がインナーの居室となります。
- ②展開したグランドシート上にインナーシートを広げます。前後に入り口がありますが、このとき左右の赤ベルトが近いほうが前方の入り口となります。(図 1)
- ③グレーのインナーポール 2本を組み立て、インナーシートのスリーブに押し通し(図 2/3)、両端をインナーシート角に配置されているそれぞれのアシストクリップに奥までしっかりと接続します。(図 4) 一人で設営を行う場合は最初に 2本のポールをスリーブに通した状態で 1本目は寝かせた状態で、アシストクリップの接続を行うようにしましょう。(図 5)
- ④立ち上げの際には前後の窓の下部を少しだけ開けておくと空気が中に入るので立ち上げがしやすくなります。(図 6)



⑤インナーシートのベルトプラグをそれぞれ 8 箇所をポールにひっかけます。(図 7)

⑥次に下記の順番 (A ~ F) で合計 6 箇所をペグ打ちしていきます。(図 8/9)

なお④の手順で開けた入り口はペグ打ちを行う前に閉じるようにしましょう。(※設営完了後に窓が閉まらない原因となります)



3、フライシートの展開

①赤色のフロントポールを組み立ててインナーポールの外側を通して、インナーの赤色ベルトのアシストクリップに接続します。(図 1/2)

フロントポールが滑落する場合はインナーのベルトクリップ上部を 2 箇所を、一度取り外し、フロントポールにクロスするように掛けても問題ありません。(図 3)

②画像の様にテントの左または右側からフライシートをかぶせます。(図 4)

フライシートの各ストームロープフック(全 6 箇所 + フロント 2 予備)にストームロープを取り付けておくと後の作業が楽になります。(図 5) ※なおこの作業は出発前点検時に行っておくと現地での作業がよりスムーズになるのでおすすめです。

③フライシートの裏面に付いている合計 6 箇所の面ファスナーをそれぞれのポールに取り付けます。(図 6/ 次ページ画像)

*インナーポール各 1 箇所ずつ計 4 箇所、フロントポール上部 2 箇所

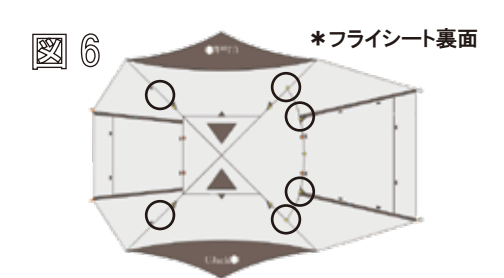
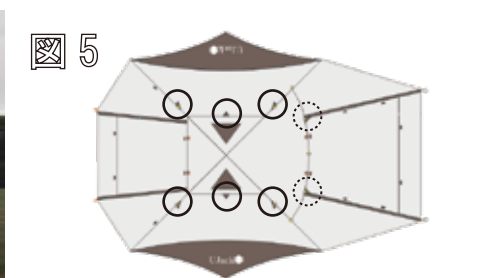
④フライシートの 4 隅のバックルをインナーシートのバックル受けと接続し、必要に応じてテンションを調節します。(図 7)

⑤図 8 のような感じになるようにフライシートの裾 (6 箇所) をペグ打ちしていきます。(完成図も参考に)

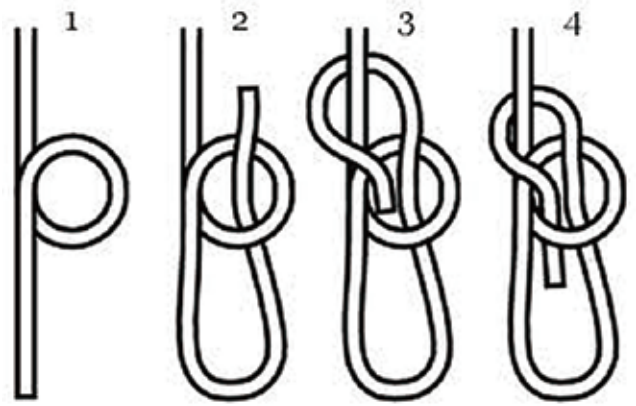
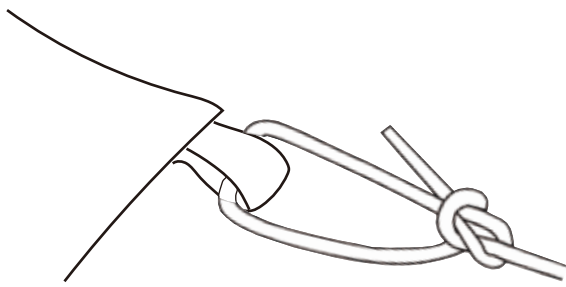
⑥ストームロープ合計 6 箇所 (または 8 箇所) をテントの側面に沿うようにペグ打ちしていきます。(図 9)

*フロント 2 箇所は特に風が強い日で次ページに示す手順で入り口を立ち上げないときのみ使用します。

⑦必要に応じてフライシート上部に設けられているベンチレーションウィンドウを開いてください。(次ページ)



ストームロープの結び方 - もやい結び



ベンチレーションウィンドウについて
テントサーキュレーションシステムによりテント内の空気の循環を効率的に行うことができます。

テント内の温度や湿度を調節するのに使用します。

*横殴りの強い雨が降っている日はここから浸水する場合がございますのでそのときはベンチレーションを閉じてご使用ください。

4、ストームロープ（張り綱）の使い方と設置方法

*本体の風対策に使用されるロープは全部で8本です、ストームロープを正しい手順ですべて設置することで本テントは最大限の風や雨に対する耐性が得られます。

なおフロント側上部の2本は特に風が強い日に使用するもので、入り口を立ち上げないときに使用してください。

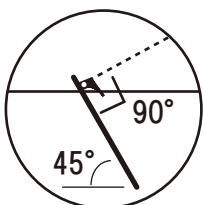
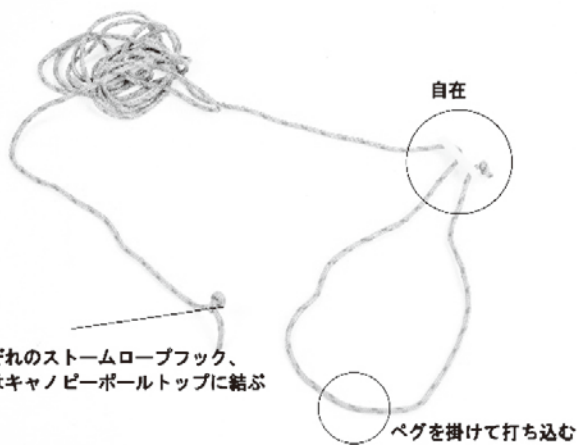
設営時点で風が吹いていなくても天候は突然変わることがありますので確実にすべてのロープを設置することを推奨します。また風の強さによっては付属のペグで対応できない場合がありますのでご注意ください。

①ロープは本体フックに”もやい結び”で固定しておきます。また付属の自在とペグを使用して地面に設置していきます。

*結び方などは上記の画像を参考にしてください。

②ストームロープはP4の図9のようにテントの側面に沿ってペグ打ちをそれぞれ行います。このときロープのペグ打ちはすべて緩めに行っておくのがポイントです。

③すべてのペグ打ちが完了したら最後に自在を調整してフライシートに張りと与えます、ただしここでも必要以上にテンションを掛けすぎるとポール折れやシートの破れに繋がりますので本書の完成図を参考に調整してください。



ペグはロープの向きに対して垂直(90度)になるように打ち込みます。地面に対してペグ本体がおおよそ45度の角度が適当です

面ファスナーの取り付け画像



5、入口の設置

①キャンピーポールを入口先端にあるポール受け（金属の輪）に差し込み入口を立ち上げます。

②キャンピーポールの軸にストームロープを結び、正面から向かって斜め 45 度外側へそれぞれ 1 本ずつペグ打ちしてください。
*ポールは入口と同じ高さではありませんので内側へ斜めになるように少しポールを倒して設置してください。
*ロープの張りを必要以上に強くしてしまうとシートの破れの原因となりますので適度なテンションで設営を行うようにしてください。（ほんの少しだけ入り口の天井部分が弛むくらいのテンションが適当です。）

③入口はジッパーで開閉することでサイドパネル付きで使うことができます。

不要な場合はジッパーを開いてさらに巻き上げてください、天井自体も巻き上げが可能ですので入口を完全に取り払って使うこともできます。



6、完成と撤去

①各部の張り具合をチェックします。もし各部のポールが歪むほど張りが強い場合はストームロープを調整する、もしくはフライシートのペグ位置やテンションベルトを調整するなどして加減してください。

またセットに含まれているインナーマットをテント内に敷いてご使用ください。

動画でも解説を行っておりますので興味のある方は Youtube[UJackChannel] を参考にお試しください。

撤去方法は逆の手順で行いますが詳しくは Youtube 動画マニュアルを御覧ください。

